

コラム



飛田 潤

地震に関係する研究をしても、自分が大地震を経験することはなかなかない。私の恩師は、自分が長期海外滞在の時に限って日本国内で大地震が起こるとおっしゃっていた。私は新潟県出身で、新潟地震のころは幼児であったが、両親から何日も燃え続けるコンビナートの黒煙の話は聞いただけで全く記憶にない。大学は仙台で過ごし、重力加速度以上の横揺れを経験したことで有名な某建物に通ったが、宮城県沖地震はすでに過ぎた後である。先生方の生々しい経験談と、そして建物に残された見事な剪断クラックから想像するしかなかった。

実際に経験した最も強い揺れは、三陸はるか沖地震の被害調査中に遭遇した最大余震で、震度4程度である。大きな被害が出るほどでもなかったが、それでも建物が異様なきしみ音をたてて揺れるのを感じながら、ほとんど動けなかったし、冷静に揺れの様子を観察するような余裕もなかった。

紺屋の白袴というのも恥ずかしいので、いろいろイメージトレーニングをしているのだが、このところ眠っていて地震で跳び起きた夢をよく見るようになってしまった（実際にはまだ眠っている）。名古屋で過ごしていれば、いつかは現実になるだろう。そのときどういう経験をするだろうか？